

科目コード	記号	科 目 名		
3099	CS09	無機化学Ⅱ : Inorganic Chemistry II		
教 員 名	小倉 薫 : OGURA Kaoru			
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
3C	1・90分	必修	講義・前期	履修単位
授業概要	原子が集まって「物質」を作るときの各種の結合様式を紹介する。次いで、原子やイオンあるいは分子がどのように集まって固体を形成しているのかについて説明する。また、溶液論についても説明する。			
到達目標		評価方法		
1) 化学結合の本質が理解できる。 2) 固体中の原子の振る舞いが理解できる。 3) 溶液化学の基本的な考え方が理解できる。		①中間試験(40%)、②期末試験(40%)、③小テスト(20%)を総合して評価する。		
学習・教育目標	(A)	JABEE基準1(1)		
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	化学結合1	原子軌道の重なりにより生じる結合性軌道、反結合性軌道、非結合性軌道について学ぶ。	
	第2	化学結合2	混成軌道と多重結合について学ぶ。	
	第3	化学結合3	イオン結合について学習する。	
	第4	化学結合4	水素結合とはどのようなものか学ぶ。	
	第5	化学結合5	化学結合に関する演習を行う。	
	第6	固体化学1	金属結晶について学習する。	
	第7	固体化学2	金属結晶に関する演習を行う。	
	第8	中間まとめ	中間まとめを行う	
	第9	固体化学3	イオン結晶について学ぶ。	
	第10	固体化学4	共有結晶、分子結晶について学習する。	
	第11	固体化学5	固体化学に関する演習を行う。	
	第12	溶液化学1	地球上に最も大量に存在する液体-「水」に関する基本的な事項を学習する。	
	第13	溶液化学2	酸塩基の概念を学習する。	
	第14	溶液化学3	HSAB論を学ぶ。	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
関連科目	無機化学Ⅰ、分析化学Ⅰ・Ⅱ			
教科書	「現代の無機化学」合原眞ほか(三共出版)			
参考書	「無機化学演習」合原眞ほか(三共出版)			
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う			
副担当教員				
備考	再試験を実施する場合には、本試験の得点を加味する。			